

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー 【2021No.179】 (HP 掲載)

分類：CD

作曲家：

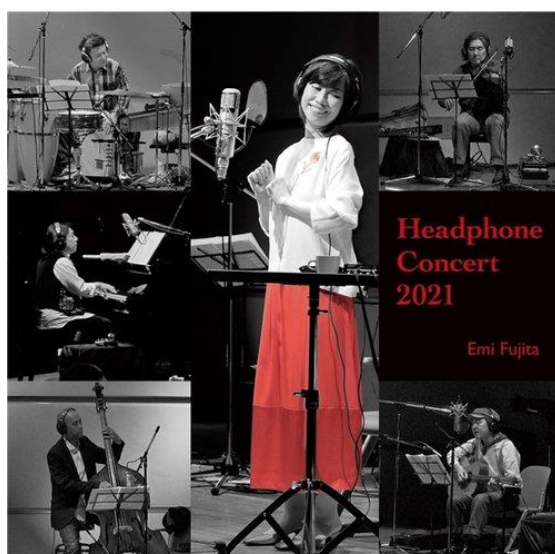
曲：

演奏：藤田恵美

発売：HD Impression

No.：HDI70003

概要：



Headphone Concert 2021 というタイトルのついた CD で、下記サイトに、本 CD 製作の経過の解説があります。

<https://www.phileweb.com/news/audio/202107/14/22630.html>

<https://www.phileweb.com/review/article/202107/12/4398.html>

<https://www.e-onkyo.com/news/3119/>

下記商品説明にもあるように、ライブとライブ配信とレコーディングが並行して行われ、ライブでは、ヘッドフォンで聴くという試みです。

なお、ライブ配信のもようについては、アーカイブを視聴し、[ライブストリーミングを楽しむ\(42\)](#)で報告しています。

「コンサートのようなレコーディング。レコーディングのようなコンサート。この日会場にいる全員が前例のない体験をした！」コンサートをスタジオ録音と同等の音質で録音したい。レコーディング・エンジニアの阿部哲也氏の長年の思いから「ヘッドフォンコンサート」の企画が生まれた。

「コンサートのような レコーディング。レコーディングのようなコンサート。」という過去前例のない不思議なこの企画は、2021年2月18日、19日横浜市サンハートホールにて、4公演各40名を「見届け人」という形で招待して行われた。

レコーディングスタジオのマイクと機材で、歌や楽器の生音をダイレクトに録音するために、通常のコンサートで使用するスピーカーなどの音響設備は一切使用せず、代わりに観客も演奏者と同じようにヘッドフォンでハイレゾ音源を聴いた。その結果、普段のコンサートでは聞き取れない息づかいなど、繊細な音までも体感したようだ。またレコーディングスタジオと同等のクオリティで、コンサート特有の生き生きとした演奏や、いい意味での緊張感を、同時に収録することにもなった。

コンサートとレコーディング。同じ土俵で比較できないそれぞれの良さを、どこまで近づけて成立させられるのか？これはある意味「実験的な試み」であり、そこから生まれた、稀な作品である。」

#### 【収録情報】

- 1 パレード
- 2 ケンとメリー ～愛と風のように～
- 3 Let it Be
- 4 愛の景色
- 5 セクシィ
- 6 縁は異なるもの
- 7 卒業写真
- 8 From a Distance
- 9 The Water Is Wide
- 10 Tokyo
- 11 酒と泪と男と女
- 12 What a Wonderful World
- 13 ひだまりの詩

演奏：

藤田恵美(Vocal)

宇戸トシヒデ(Pf, Accordion, Whistle, Cho) / 西海孝(Ag, Cho) / 武川雅寛(Vn, Tp) /

河合徹三(Bass) / 朝倉真司(Perc)

本CDは、CDドライブから読み出し、fidata HFAS1-S10経由でBrooklyn DAC+に  
入力して試聴しました。

また、ライブ配信のアーカイブを視聴できる期間でもありましたので、比較対象としてPCで再生して視聴しました。

全般的に CD もよく録れています。ライブ配信のアーカイブを 192KHz で受ける場合に比べると随分と聴き劣りがします。即ち、配信のステージ感、ホールの空間の音響特性、声と楽器の質感などが、随分欠落しているように聴き取れます。

というわけで、改めて CD の課題と Live Extreme の Platform のポテンシャルを認識することができました。

なお、ライブ配信のアーカイブを DA-3000 で 5.6MHzDSD 録音してみましたが、こちらの方が、元の雰囲気よりも色濃く残っています。

以上